



大雨による土砂災害を想定

令和8年度美浜町防災訓練(西郷地区)

■お問い合わせ先
町エネルギー政策課
☎32-6716



↑ 指定避難所へ避難する住民(早瀬)



↑ HUGゲームで避難所配置を話し合う地域住民(美浜西小学校)

10月4日に、西郷地区を対象とした防災訓練を実施しました。

この訓練は、区や自主防災組織を中心に、災害発生時の行動や連絡体制を確認し、地域の防災力向上と住民の自主防災意識の高揚を図ることを目的としています。

当日は、北西郷地区を中心に大雨が降り続き、本町に警戒レベル4の大雨危険警報が発表され、西郷地区全域に避難指示が発令された状況を想定し、屋外スピーカーや戸別受信機等を活用した災害情報の伝達をはじめ、住民の避難や要配慮者の安否確認、地元消防団による区・自治会内の

巡回等を行いました。

また、区・自治会と自主防災組織が連携し、互いに助け合う「共助」の手順を確認したほか、ドローンで撮影した災害現場の映像を災害対策本部へ中継する情報伝達訓練を通じて、今後の課題を検証しました。

指定避難所の美浜西小学校では、福井地方気象台による講演や避難所運営について考えるHUGゲーム、地域の消防団員や住民による土のう作成訓練を実施しました。さらに、災害対策用の機械・車両やトイレトラック等も展示され、参加者は災害への備えについて理解を深めました。



ふるさと美浜が共通点

東京美浜会 総会を開催

■お問い合わせ先
町まちづくり推進課
☎32-6701

10月11日に、第38回東京美浜会総会と懇親会が東京都内で開催されました。

同会は、ふるさと美浜の発展に寄与し、会員同士の親睦を深めることを目的として、首都圏在住の美浜町出身者等で構成されており、平成元年の発足から今年で38年目を迎えます。

町からは戸嶋町長が出席し、北陸新幹線敦賀開業後の町内観光業の動向や、児童生徒の学力向上の成果、子どもたちを中心とした「人づくり」の取り組み等について報告しました。

懇親会では、会員が近況やふるさとの思い出を語り合う中、ゲストの林田充氏(株式会社レインボーライン代表取締役)とジュリアン・ジーン氏(株式会社スターゲットジャム代表取締役)から、観光振興の取り組みや今後の展望等について紹介されました。また、町まちづくり推進課からは、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税等、「人づくり」の取り組みを応援できる制度を紹介しました。

特別コーナーでは、本年5月に逝去された元京都市立伏見



↑ 総会及び懇親会の出席者

工業高校ラグビー部総監督の山口良治氏(美浜町出身)を偲び、同校で同僚だった藤井範久氏(佐柿出身)や親交の深かった山口治太郎氏(気山)から当時の思い出やエピソードが語られました。

その後、地元食材の魅力紹介や特産品抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がり、最後は参加者全員で「ふるさと」を合唱し、閉会となりました。

同会では、町出身者で首都圏にお住いの方を対象に会員を募集しています。ご本人をはじめ、該当するご親戚やご友人がおられましたら、ぜひお声掛けください。

わたしの夢、語ります

萱森 ^{あい} 愛さん 美浜中央小学校 6年(安江)

サッカーでみんなを笑顔に！

私の将来の夢は、サッカー選手になることです。理由は、小学2年生の時にテレビでFIFAワールドカップを見て、サッカーは、選手も周りの人も笑顔にし、勝っても負けてもチームと観客全員が感情を分かち合うことができるスポーツだと思ったからです。

夢をかなえるために今は、地域のサッカーチームでたくさん練習していて、練習が休みの日も家や小学校のグラウンドで自主練習をしています。

これからも一生懸命練習し、将来、なでしこジャパンに入り、チームを勝たせる選手になるだけでなく、見てくれる人たちみんなを笑顔にできるサッカー選手になりたいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2026年11月号

- 2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 美浜町のニュース
令和8年度美浜町防災訓練(西郷地区)／東京美浜会 総会を開催
- 4 令和7年度美浜町の決算報告
- 8 まちウォッチング
美浜町小学校陸上運動発表会／すこやか長寿者訪問 他
- 10 美浜町はカスタマーハラスメント対策に取り組みます
- 11 みはまのまなび通信 Vol.17
- 12 情報BOX
農地の転用には許可が必要です／緊急情報の伝達試験を実施します 他
- 18 美浜発電所の状況について
- 21 観光シリーズ Vol.7
- 22 すこやか放送局
- 23 ふるさと昔よもやま話174／文芸欄
- 24 ハートフル広場
はじめてバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



美浜町小学校陸上運動発表会の5・6年生男子1,000m決勝の様子です。

写真に写っている児童3人が先頭を引っ張り、トップを入れ替えながらゴールまで一生懸命走っていました。

児童たちの競技に取り組む姿勢や表情からさまざまな「かける」を想像することができます。(関連第8頁)

用語説明

歳入

①町税…町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金

②分担金及び負担金…一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金

③使用料及び手数料
使用料…総合体育館等、公の施設の使用料等
手数料…税の証明や住民票の交付等の手数料

④寄附金…個人・団体から贈与されたお金

⑤繰入金…一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互に資金運用するお金

⑥その他…財産収入、繰越金

⑦諸収入…ほかの収入科目に含まれない収入で、延滞金や預金利子、雑入等

⑧地方譲与税…地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税

⑨各種税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、

⑩その他交付金…地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

⑪地方交付税…地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるよう、財政状況に応じて国から交付されるお金

⑫国庫支出金…国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金

⑬県支出金…市町村の特定の事業等の経費に対して県から交付されるお金

⑭町債…各事業を行うために町が借り入れるお金

歳出

①議会費…議会活動にかかる経費

②総務費…自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費

③民生費…児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園の管理・運営にかかる経費

④衛生費…保健衛生、ごみ処理等、衛生的な生活のためにかかる経費

⑤労働費…労働者への貸付等にかかる経費

⑥農林水産業費…農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営にかかる経費

⑦商工費…中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費

⑧土木費…道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費

⑨消防費…消防署や水防・防災対策にかかる経費

⑩教育費…小中学校の管理・運営、体育施設の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費

⑪公債費…地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費

美浜町の3種類の会計

町には、お金を出し入れするために3種類の会計があります。

① 一般会計

町の基本的な行政サービスを行うために必要なお金を出し入れする会計です。通常はこの会計にお金を入れたり、そこから払ったりしています。(4～5頁)

② 特別会計

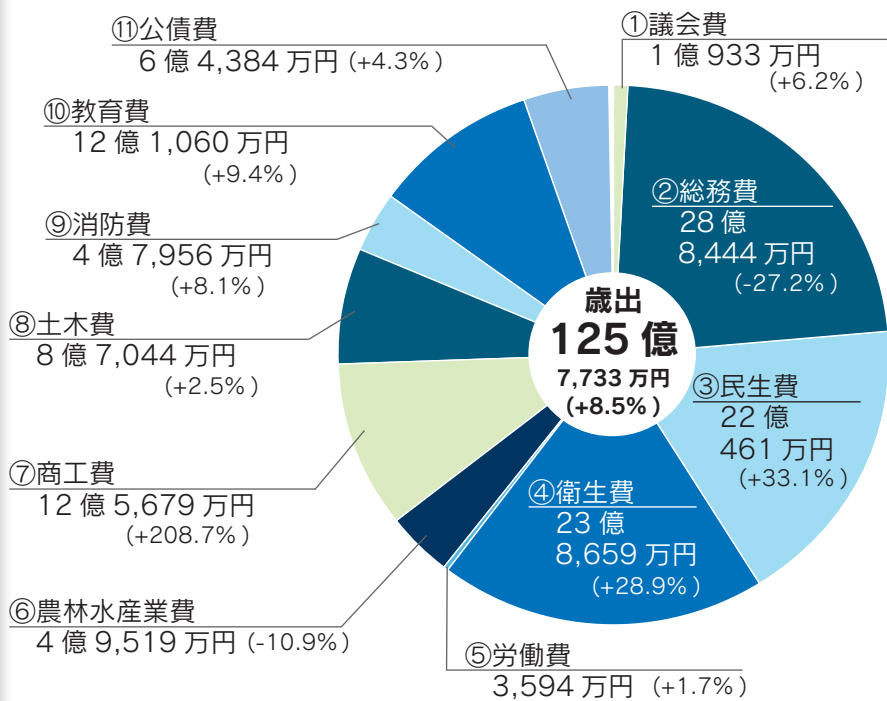
特定の事業を行うために必要なお金を出し入れする会計です。「診療所事業」や「国民健康保険事業」等の7つの会計があります。(6頁)

③ 企業会計

一般の会社と同じ会計方式をとる会計です。町には「上水道事業会計」と「下水道事業会計」があります。(6頁)

歳出

※ () は対前年比



町民1人あたりに使われたお金
(令和8年3月31日時点の人口8,478人で計算)

約149万円

令和7年度一般会計の歳出決算額は、125億7,733万円、前年度と比較すると、9億8,924万円の増額となりました。

主な要因として、町内にある植物工場への補助金や産業団地で操業を開始した企業への交付金等による商工費の増、新清掃センターの工事本格化等による衛生費の増により増額となりました。

一方、庁舎改修工事の完了及びまちづくり基金等の積み立ての減少により総務費が10億7,686万円の減、農林水産業費では、地域担い手づくり整備事業等の完了により減額となりました。

植物工場補助金、新清掃センターの工事着工により増額

令和7年度美浜町の決算報告

9月1日から29日にかけて開催された令和8年第4回町議会定例会で、令和7年度の決算が認定されました。

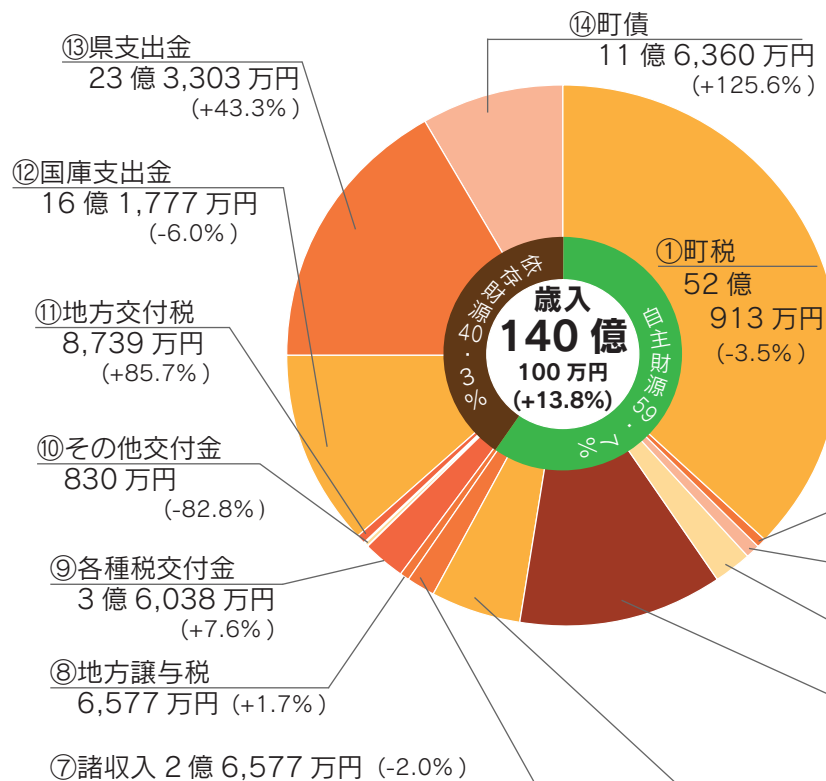
今月号では、令和7年度に皆さんから納められた税金や国または県からの収入がどのように使われたのかを報告します。

一般会計

実際の決算額は円単位ですが、分かりやすくするために万円単位で表示しています。

歳入

※ () は対前年比



町税の内訳

名 称		金 額	対前年比
町民税	個 人	4億8,449万円	+15.3%
	法 人	6億3,284万円	+3.2%
小 計		11億1,733万円	+8.1%
固定資産税		39億7,947万円	-6.3%
軽自動車税		4,324万円	+3.3%
たばこ税		6,448万円	-5.3%
入 湯 税		461万円	+7.0%
合 計		52億913万円	-3.5%

②分担金及び負担金 6,997万円 (-6.6%)

③使用料及び手数料 1億356万円 (+25.1%)

④寄附金 3億402万円 (+17.2%)

⑤繰入金 16億8,209万円 (+117.0%)

⑥その他 7億3,022万円 (-32.3%)

自主財源は全体の約6割

一般会計の歳入は、町民の皆さんから納められた町税や町の施設を使つた時に支払われる使用料等、町が自分の力で収入とした「自主財源」と、国や県から交付を受けた「依存財源」に分かれています。

その割合を見ると、自主財源が前年度比4・8割増の59・7%、依存財源が40・3%となっており、歳入の約4割を国、県から交付されるお金や町債等で賄っている状況です。

自主財源の割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるため、町では、今後も町税等の自主財源を増やすための施策に積極的に取り組んでいきます。

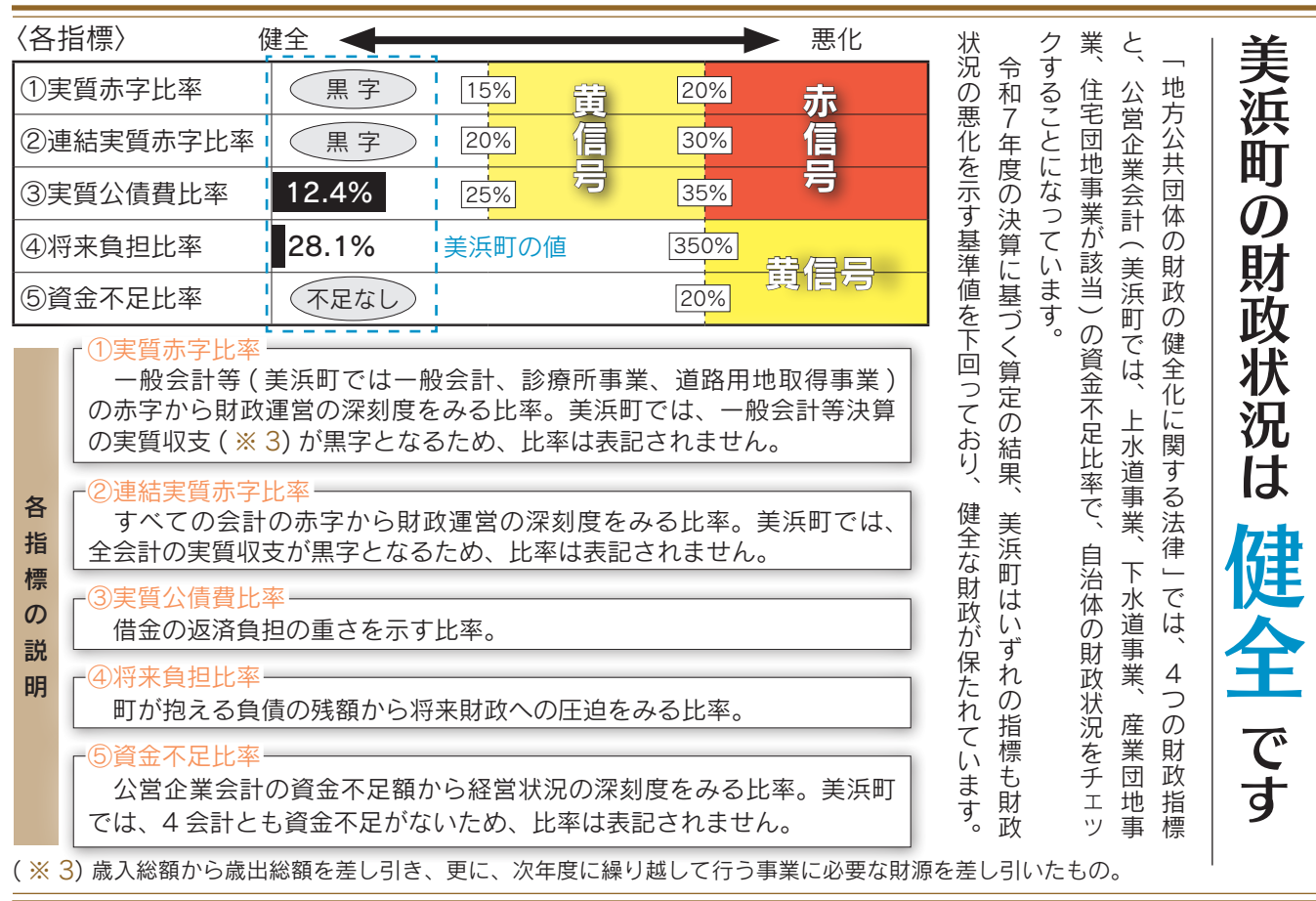
決算額前年度比較約1・4割増収

令和

令和7年度一般会計の歳入決算額は、140億100万円、前年度と比較すると、17億193万円の増収となりました。

主な要因としては、保健福祉センターの大規模改修工事等に向けて積み立ててきたお金を予算に繰り入れたことで、繰入金が増加したことや、町内にある植物工場への補助金等の交付により、県支出金が増加したこと等が挙げられます。

一方、国の制度改正(定額減税分の廃止)により、地方特例交付金3,994万円の減収となりました。



令和7年度の主な事業

■保健福祉センター大規模改修事業

[事業費] 3億5,530万円

平成9年に整備した保健福祉センターについて、整備後25年以上が経過し、老朽化が著しいことから外壁補修及び屋上防水等の改修工事を実施しました。



はあとびあ

■小倉山山頂公園整備事業

[事業費] 3,578万円

小倉山山頂に町民が集える公園を整備するため、休養施設や遊戯施設、駐車場等の整備を実施しました。



完成した小倉山山頂公園

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計とは別に設けられている会計のことで、それぞれの会計が独自で収入・支出の経理をしています。町の特別会計は全部で7会計で、それぞれの決算額は次のとおりです。

会計	内容	歳入	歳出	差引額
診療所事業	東部診療所と丹生診療所を運営するための会計	1億605万円	1億605万円	0万円
国民健康保険事業	自営業の方や退職者等の医療費等を給付するための会計	10億6,344万円	9億5,660万円	1億684万円
後期高齢者医療事業	75歳以上の高齢者等の保険料を収納・納付するための会計	1億8,808万円	1億8,669万円	139万円
介護保険事業	高齢者の介護サービス、介護予防・生活支援等を行うための会計	12億9,385万円	11億1,372万円	1億8,013万円
産業団地事業	産業団地の整備等を行うための会計	3億5,201万円	3億4,380万円	821万円
住宅団地事業	住宅団地の整備や分譲促進を行うための会計	1億7,419万円	5,015万円	1億2,404万円
道路用地取得事業	国道27号交通安全事業にかかる道路用地取得を行うための会計	0万円	0万円	0万円

企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて設置する会計で、町には、上水道事業会計と下水道事業会計があります。

会計		収入	支出	差引額
上水道事業(※1)	収益的収支 (日々の運営活動にかかる収支)	2億8,849万円	3億2,415万円	-3,566万円
	資本的収支 (長期的な投資に関わる収支)	4億576万円	4億5,816万円	-5,240万円
下水道事業(※2)	収益的収支 (日々の運営活動にかかる収支)	7億6,492万円	6億4,671万円	1億1,821万円
	資本的収支 (長期的な投資に関わる収支)	4億3,566万円	7億2,209万円	-2億8,643万円

- (※1) 上水道事業会計の収益的及び資本的収入額が収益的資本的支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てんしました。
- (※2) 下水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、過年度及び当年度損益勘定留保資金、減債積立金、当年度利益剰余金処分分で補てんしました。

原子力発電所の立地に伴う交付金の活用状況

町には、原子力発電所が立地していることにより、国や県から「電源立地地域対策交付金」や「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金」等が交付されています。

町では、これらの交付金を活用して次のような事業を実施しました。

名称	内容	交付金額
電源立地地域対策交付金	町内公共施設の職員人件費や光熱水費、管理委託料、保育園の職員人件費、子どもの医療費助成等に活用しました。	9億4,929万円
原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金	保健福祉センター大規模改修事業や小倉山山頂公園整備工事等に活用しました。	2億2,182万円
広報・調査等交付金	原子力関連の広報紙等の発行や広報番組の放送、掲示板等の維持管理、町原子力環境安全監視委員会を開催し、視察調査や情報収集等を行いました。	1,291万円

↓ 鋭いヒットを放つ選手



晴天の下で繰り広げられる熱戦 第61回町民ソフトボール大会

9月27日に、第61回美浜町民ソフトボール大会が総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

トーナメント戦で行われた大会には、町内から11チーム約170人が参加し、決勝戦では激戦の末、佐田チームが勝利を収めました。

大会結果は次のとおりです。

優勝 佐田 準優勝 新庄 第3位 南市、早瀬・日向・笹田

↓ 献花をする参列者たち



恒久平和の実現に向けて 戦没者追悼式

10月6日に、戦没者追悼式がはあとぴあで行われました。

追悼式は、戦没者の追悼と平和社会を次世代へ継承することを目的に開催され、約80人が参列しました。

町遺族会の石丸会長は「戦争の記憶が希薄化する中、同じ過ちを二度と犯さぬよう、子々孫々まで語り継ぐ必要がある」と述べていました。

↓ 美浜西小学校の児童が考案した環境クイズに答える参加者



エネルギーについて楽しく学ぶ 2026さいばすあきまつり

10月3日に、2026 さいばすあきまつりが同館で開催されました。

同イベントは、エネルギー環境学習や、町内外の小学生から高校生までの児童・生徒が、日頃の学習や研究の成果を発表する場を設けるため、同館が企画したものです。

来場者は、体験プログラムやショー等を通して、さまざまなエネルギーのおもしろさを体感していました。

↓ 米寿を記念し、訪問した戸嶋町長と談笑する高木勝美氏（右）



これからもお元気で！ すこやか長寿者訪問

10月9日に、戸嶋町長が町内の88歳（米寿）と99歳（白寿）以上の方を対象に訪問をしました。

今年、町内で米寿を迎えられる方は59人で、白寿以上の方は24人となっています。

米寿を迎えられた高木氏宅（新庄）を訪問した戸嶋町長は「これからも元気に長生きを」と言葉をかけ、長寿を祝うとともに、記念品を贈呈しました。（関連第25頁）

↓ 4 × 100m リレーの決勝でバトンをつなぐ児童たち



練習の成果を発揮 美浜町小学校陸上運動発表会

10月7日に、美浜町小学校陸上運動発表会が美浜中央小学校グラウンドで開催されました。

発表会では、町内3つの小学校の児童が100m走や走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ、長距離走、リレーの競技に出場しました。

児童たちは、自己ベストの更新を目指し、練習の成果を存分に発揮していました。（関連第2頁）

↓ 仲間とバトンをつなぎゴールを目指す生徒たち



優勝を目指して一致団結 美浜中学校体育祭

9月17日に、美浜中学校の体育祭が同校グラウンドで開催されました。

体育祭では、これまで練習を重ねてきた応援合戦や、学年種目、代表リレーのほか、綱引き等の種目を行い、得点を競いました。

生徒たちは、体育祭を楽しみつつ、競技等を全力で取り組み、優勝を目指して熱戦を繰り広げていました。

↓ 久々子湖畔沿いでごみを拾う参加者たち



湖をいつまでも美しく 三方五湖一斉清掃

9月27日に、三方五湖一斉清掃が行われました。この活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が開催したもので、町内外の団体や企業等13団体、約150人が参加しました。

参加者は、久々子湖や日向湖等の周辺道路・側溝等に落ちているごみを拾い集め、可燃ごみや不燃ごみ等、軽トラック約3台分を収集しました。



まちウォッチング
atching